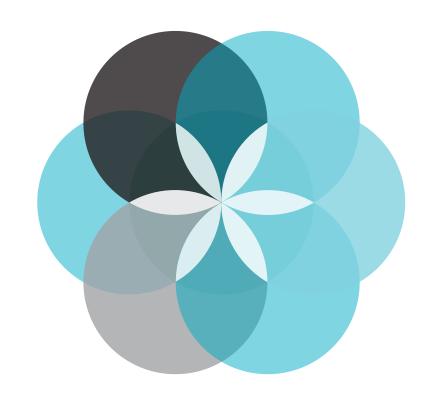
## 地域の宝を未来へつなぐ NPO等による文化財建造物管理活用の手引き

## 事例集







地域の宝を未来へつなぐ NPO等による文化財建造物管理活用の手引き 事例集

#### 発刊によせて

文化財建造物の保存・活用は長らく所有者と行政機関が主体となって行われてきました。しかし、文化財建造物が多種多様かつ多数となり、また国民の関心が高まる中で、文化財建造物を活動の場としながら地域の発展に寄与したいと考えるNPO法人や市民団体等が増えています。

これを受け、文化財をまちづくりに活かしつつ、地域 社会総がかりでその継承に取り組んでいくことを目 的に、NPO法人や市民団体等に対し、市区町村によ る文化財保存活用支援団体の指定が行えるよう文化 財保護法が改正されました。

文化庁では、重要文化財建造物をはじめ、登録文化財建造物や伝統的建造物群等の文化財建造物をも対象として、NPO等による管理活用のモデルとなる活用を委託事業として実施してきました。平成18年度から同22年度にかけて「NPOによる文化財建造物活用モデル事業」として、延べ54団体に文化財建造物の活用モデルを提案していただきました。平成23年度から同27年度にかけて「NPO等による文化財建造物の管理活用事業」として、延べ28団体において、

文化財建造物の管理活用を検討する事業を実施していただきました。さらに平成28年度から令和2年度にかけて「NPO等による文化財建造物管理活用の自立支援モデル検討事業」として、延べ16団体において、文化財建造物の活用を通じて、自立した管理活用を可能とするべくモデルの検討を実施していただきました。合計15年にわたり、全国の延べ98団体において、文化庁委託事業を通じて、様々な文化財建造物の活用が行われました。

これらの取り組みを通して、NPO等の組織づくりや、資金面、法令上の諸課題に対し、多様な解決策を見出すことができました。これから文化財建造物を活用した活動を検討されている方、すでに活動を実践されている方、様々な方に手に取っていただけるよう編集を工夫しました。

本書をきっかけに、全国でより多様で活発な文化財 建造物の活用が展開され、地域社会の賑わいに繋が ることを願ってやみません。

文化庁文化資源活用課長 伊藤史恵

#### はじめに

現在、文化財建造物の保存・活用に、所有者や自治体だけでなく、NPO 法人をはじめとする地域住民や市民団体なども積極的に携わる例が増えています。 文化財建造物の「活用」とは、文化財建造物としての価値や魅力を社会に示すことといえます。修理をしながら住み続ける・使い続けることで外観または内外観を公開し、誰もが眺め、親しむことができる状態を生み出すことも「活用」です。

また、本来の機能や用途を維持できなくなった場合も、文化財建造物として の特性を活かしながら、飲食店や宿泊施設などに転用し、新しい価値を付加 する「活用」も広がりを見せています。

文化庁では、魅力的な文化財建造物の活用に関する取組みを支援しています。 今後、文化財建造物の活用を検討・実施する住民や事業者・所有者、また新しい活動に取り組もうとしている皆様が課題に直面した際の参考となるよう、 本書を作成しました。

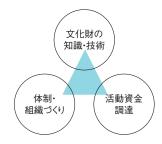
本書は、文化財建造物の管理活用を行う際、またはこれから行おうとしている団体が、活動の実現や課題の解決に向けて、自立的に活動を推進していくことを支援するための手引書であり、文化財建造物の管理活用に関して必要な知識や、既に活動している団体の事例を紹介しています。

## 本書の構成

本書は、文化財の保存と活用を考える上での基本的な事項をまとめた「手引書」と、様々なプロジェクトを紹介した「事例集」の2冊構成となっています。

#### 手引書

Part 1では、文化財建造物を管理活用していく上での3つの要素①文化財の知識・技術、②組織・体制づくり、③活動資金調達)それぞれに関する基礎知識を紹介します。
Part 2の事例紹介には、文化財建造物の管理・活用を行う6つの団体を取り上げ、発展過程を掲載しています。



## 事例集

事例集では、様々なプロジェクト事例を取り上げ、活動団体の活動や企画等の特徴を紹介しています。プロジェクトにおいて、文化財建造物を管理活用していく上での3つの要素の確保をどのように行ったのかや、取組みの特徴などをまとめました。

担い手を育てる	子どもを対象としたワークショップ開催
地域の文化財建造物を知る	行政との連携支援
修復・整備する	文化財建造物の修復
イベントを開催する	映画祭やコンサートの開催
地域コミュニティの拠点にする	地域住民への開放

目的に応じた活動事例と3つの要素のイメージ

## **Contents**

002発刊によせて005はじめに007本書の構成

## 文化財建造物を活用した活動の事例

- 文化財建造物での取組み一覧 012 016 | Case 1 | 蒲原宿子ども案内人養成講座 018 | Case 2 | 「吉良川まちなみ館」と「べっぴんさんの家」 Case 3 | 「吉良川の町家 雛まつり」と「吉良川町並み飛脚レース」 022 | Case 4 | 栃木·蔵の街かど映画祭 | Case 5 | 気仙沼風待ち地区の文化財建造物再建 | Case 6 | 旧国鉄中央線廃線の特別公開 | Case 7 | 「町家むすび」でアートあふれるまちづくり │ Case 8 │ 「見守るネット」で所有者と専門家をつなぐ 032 | Case 9 | 古材市·大処分市 | Case 10 | 「空き家バンク」事業 | Case 11 | 尾道ゲストハウス「あなごのねどこ」 Case 12 | 分散型「篠山城下町ホテル NIPPONIA」 Case 13 | 防火・耐震改修モデル町家での活動 | Case 14 | ヘリテージマネージャー養成講座等の開催 | Case 15 | 歴史的建造物に携わる実務者を対象としたセミナーの開催
- 046 活動の参考となる資料

# 文化財建造物を活用した活動の事例

近年、文化財建造物を活用した 様々な活動が展開されています。 全国におけるNPO等の実際の取組みの中から、 いくつかをご紹介します。

	活動目的の例	活動の例	
A 知 識	■地域の歴史や文化財建造物を知る	<ul><li>・文化財建造物の調査</li><li>・文化財建造物のカルテ作成</li><li>・地域学習への協力・支援</li></ul>	
技術の	2 修理・整備する	<ul><li>・文化財建造物の修復</li><li>・修復ボランティア</li></ul>	
知識・技術の習得・発信	<b>3</b> 修理・整備技術の継承・普及啓発	・修復技術の調査研究 ・修復技術に関するセミナー・ワークショップの開催 ・バンフレット作成・論文発表・Webサイトへの情報 掲載等	
<b>B</b> 人材	■担い手を育てる	・担い手候補となる地域の人や子どもを対象とした、イベントやワークショップの開催 ・地域のキーマンを探す・育てる ・文化財建造物やまちづくりに関する勉強会の開催 ・担い手となる人の定住促進 ・文化財建造物の活用希望者の支援	
人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	<ul><li>・地域住民との連携</li><li>・地域住民の協力を得た運営</li><li>・組織体制づくりの支援</li><li>・様々な主体との連携支援</li><li>・指定管理者制度による行政との連携支援</li></ul>	
	3 所有者を支援する	<ul><li>・所有者に対する情報提供</li><li>・所有者のネットワーク形成支援</li><li>・資産形成や施設の管理に関する支援</li></ul>	
C 資金調達	■ 文化財建造物の魅力を活かして資金を得る	・収益事業の実施 ・イベントと連動した募金活動 ・低コストでの修復の工夫	
▶地域の賑わいづくり	11イベントを開催する・イベントに参加する	・まち歩きイベントの開催 ・文化財建造物を会場とした展示、映画祭、コンサートなどの開催 ・文化財建造物やまちなみのライトアップ ・地域のイベント等への参加	
いづくり	2 地域コミュニティの拠点にする	・地域住民への施設の開放 ・地域住民に向けたサロンの運営	
	3 観光資源としての価値を活かす	・観光拠点施設や宿泊施設などとして活用する	
巨その他	_	・地域の防災ネットワークの構築 ・文化財建造物の防災建築技術の普及啓発 ・災害からの復興	

地域の子どもたちをまち歩きガイドに!

蒲原宿子ども案内人養成講座

NPO法人旧五十嵐邸を考える会/静岡県静岡市

A-1 B-1 D-1

#### Case 2

指定管理者制度によるまちなみ拠点施設等の管理運営

「吉良川まちなみ館」と「べっぴんさんの家」

NPO法人吉良川町並み保存会/高知県室戸市

B-2 C-1 D-2

#### Case 3

歴史あるまちなみを巡って楽しむ、伝統と新しいイベントの融合

「吉良川の町家 雛まつり」と「吉良川町並み飛脚レース」

NPO法人吉良川町並み保存会/高知県室戸市

B-1 B-2 C-1 D-1

### Case 4

歴史的建造物をミニシアターに!

栃木・蔵の街かど映画祭

任意団体栃木・蔵の街かど映画祭実行委員会/栃木県栃木市

A-1 B-2 D-1

#### Case 5

被災した歴史的建造物の再生を地域の力に

気仙沼風待ち地区の文化財建造物再建

一般社団法人気仙沼風待ち復興検討会/宮城県気仙沼市





文化財と自然が一体となった魅力を伝える

## 旧国鉄中央線廃線の特別公開

NPO法人愛岐トンネル群保存再生委員会/愛知県春日井市



### Case 7

歴史的建造物の所有者と利活用希望者をマッチング

「町家むすび」でアートあふれるまちづくり

有限責任事業組合富田林町家利活用促進機構(略称:LLPまちかつ)/大阪府富田林市



#### Case 8

歴史的建造物の所有者の抱える悩みに寄り添う「伴走型」支援

「見守るネット」で所有者と専門家をつなぐ

認定NPO法人古材文化の会/京都府京都市



### Case 9

「イラナイモノ」は宝物

古材市·大処分市

認定NPO法人古材文化の会/京都府京都市



#### Case 10

空き家となった文化財建造物の活用・再生

「空き家バンク」事業

認定NPO法人尾道空き家再生プロジェクト/広島県尾道市



#### Case 11

空き家の活用で定住促進と雇用創出を実現

尾道ゲストハウス「あなごのねどこ」

認定NPO法人尾道空き家再生プロジェクト/広島県尾道市



#### Case 12

まち全体での空き家再生と魅力発信

分散型「篠山城下町ホテル NIPPONIA」

一般社団法人ノオト/兵庫県丹波篠山市



#### Case 13

伝統木造の防災を考える

防火·耐震改修モデル町家での活動

NPO法人関西木造住文化研究会(略称: KARTH)/京都府京都市



#### Case 14

歴史的建造物に関わる建築士のすそ野を広げる

ヘリテージマネージャー養成講座等の開催

NPO法人ひょうごヘリテージ機構H2O神戸/兵庫県神戸市



#### Case 15

歴史的建造物の管理・活用に関する制度を学ぶ

歴史的建造物に携わる実務者を対象としたセミナーの開催

NPO法人ひょうごヘリテージ機構H2O神戸/兵庫県神戸市



地域の子どもたちをまち歩きガイドに!

## 蒲原宿子ども案内人養成講座

NPO法人 旧五十邸を考える会

### プロジェクトの概要

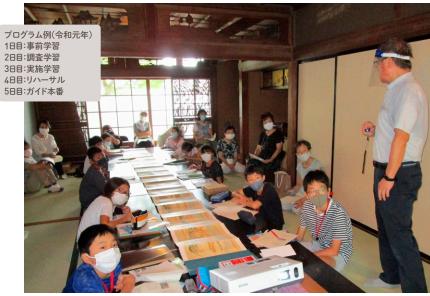
小学校高学年から中学生が対象。蒲原宿周辺の史跡や歴史について学習し、 その集大成として、学習の成果を発表する場である『蒲原宿場まつり』でキッ ズガイドに挑戦します。

## 地域の特徴

静岡県静岡市にある旧蒲原宿は、江戸時代には宿場町として栄えました。当時の雰囲気を残す町家などと、旧五十嵐邸をはじめとする近代建築が並び、歴史ある町並みを形成しています。

普段から地域の皆で楽しめるイベントがたくさん……旧五十嵐邸では、七夕まつりやアートの体験教室など、子どもも大人も楽しめるイベントを普段から開催しています

△知識・技術の習得・発信	■地域の歴史や文化財建造物を知る	地域学習への協力・支援につ ながっている
■人材発掘・組織づくり	11担い手を育てる	活用の新しい担い手となる地域の子どもたちを対象に、ワークショップ・講座を開催している
▶地域の賑わいづくり	11イベントに参加する	学習の集大成としてイベントに 参加し、地域の賑わいづくりに つなげている



養成講座の様子



子ども案内人によるガイドの様子



旧五十嵐邸で季節のイベントの様子



旧五十嵐邸外観



蒲原宿の町並み

018

指定管理者制度によるまちなみ拠点施設等の管理運営

## 「吉良川まちなみ館」と「べっぴんさんの家」

NPO法人 吉良川町並み保存会

### プロジェクトの概要

連続する古民家3軒とそれをつなぐ新築1棟からなる町並 み拠点施設の管理運営を、指定管理により行っています。「吉 良川まちなみ館」は吉良川の歴史・文化や歴史的建造物を紹

「べっぴんさんの家」では、 吉良川ならではの食材も 使っています

介する施設、「べっぴんさんの家」はカフェ・休憩所として活用されており、地 域の人がのんびりと楽しめる場にもなっています。

### 地域の特徴

旧土佐街道に沿った高知県室戸市の「浜地区」には、明治期に建てられた漆喰 壁の商家や、水切り瓦の蔵が立ち並んでいます。その北側の微高地に展開す る地区「丘地区」では台風常襲地として、風雨から家を守るために、河原石や 浜石を積んだ風よけ塀「いしぐろ」を見ることができます。この二つの地区か らなる地域が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

B人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	・地域の協力を得ながら運営している ・指定管理者制度によって、行政との連 携体制が構築されている
	■文化財建造物の魅力を 活かして資金を得る	指定管理者として業務を受注し、団体の 資金調達につなげた
▶地域の賑わいづくり	2 地域コミュニティの拠点にする	文化財建造物を地域に住む人たちに親 しまれる施設として開放し、地域文化へ の理解を深めてもらうきっかけとなった



吉良川まちなみ館



旧松本家住宅「べっぴんさんの家」の室内



吉良川まちなみ館でのイベント時の様子



吉良川まちなみ館

歴史あるまちなみを巡って楽しむ、伝統と新しいイベントの融合

## 「吉良川の町家 雛まつり」と 「吉良川町並み飛脚レース」

NPO法人 吉良川町並み保存会

#### プロジェクトの概要

「吉良川の町家 雛まつり」……桃の節句に合わせて、地区に立ち並ぶ町家に雛 人形が一斉に展示され、訪れる人は家に入って鑑賞することができます。吉 良川の町並みが伝建地区に指定された後から開始されました。地元のよさこ い祭りや雛行列、歌手によるライブ等も同時に実施され、まち全体がお祭り の雰囲気に包まれます。

「吉良川町並み飛脚レース」……重伝建地区の町並みを、5人一組となって駅 伝形式で走り抜けるイベント。速さを競うだけでなく、仮装とパフォーマン スが見どころの「コスプレ部門」もあります。雛まつりの前のイベントとして 開催されています。このイベントのために帰省する人も多くいます。

#### 地域の特徴

前掲(p.018参照)

#### 取組みのポイント

■ 人材発掘・組織づくり	11担い手を育てる	大人も子どもも楽しめるイベントとし、地域の文 化継承の担い手づくりにつなげている
	2 ネットワークを作る・広げる	地域の協力を得た運営体制を構築し、イベント を通じて地域とのつながりを強めている
資金調達	1 文化財建造物の魅力を 活かして資金を得る	イベントと連動した募金活動によって、地域ぐる みで各回のイベント資金の確保を行っている
▶地域の賑わいづくり	1 イベントを開催する	町並みや歴史的建造物を生かしたイベントを開催し、町並みを活かした賑わいづくりを行っている



町並み飛脚レースの様子



地域の力で運営……イベントの 運営費等は、主に地元からの寄

付。野菜や炭などが寄付されるこ

ともあります

町並み飛脚レースのスタートの様子



雛まつりでは、土間を解放して雛人形を飾る。手芸品の販売 町並み飛脚レースのチラシ も行っている





雛まつりでの子供たちによる練り歩き

栃木・蔵の街かど映画祭

## Case 4

## 歴史的建造物をミニシアターに! 栃木・蔵の街かど映画祭

任意団体 栃木・蔵の街かど映画祭実行委員会

### プロジェクトの概要

市内にある蔵などの歴史的建造物をミニシアターの会場として利用し、映画 祭を開催します。町中にある歴史的建造物の内部で映画を見ながら、地域を 巡るイベントです。空き蔵の利用促進を図るとともに、その歴史や価値をこ のイベントを通じて、多くの人に知ってもらうことを目的としています。

### 地域の特徴

栃木県栃木市における重要伝統的建造物群保存地区・栃木市嘉右衛門町伝統 的建造物群保存地区は、かつては在郷町であり、中心市街地を流れる巴波川 による舟運によって栄えた歴史的背景を有する町並みが残されています。

	△知識・技術の習得・発信	■ 地域の歴史や文化財建造物を知る	シアターとして文化財建造物を活用することで、建物や町並みに親しみを持ってもらうきっかけを作り、より深い理解につなげている
	■人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	・地域住民の協力を得て運営し、自 治体や観光協会等による連携体 制を構築している ・実行委員会には学生メンバーも多 く参加している
1	▶地域の賑わいづくり	■イベントを開催する	映画祭やコンサートを開催し、町並 みを活かした賑わいづくりを実現し ている



蔵がシアターとして利用される



メイン会場となった栃木高校講堂での上映



メイン会場となった栃木高校講堂での上映



会場の様子(山車会館前広場)



会場の様子(山本有三ふるさと記念館)

気仙沼風待ち地区の文化財建造物再建

## Case 5

### 被災した歴史的建造物の再生を地域の力に

## 気仙沼風待ち地区の文化財建造物再建

一般社団法人 気仙沼風待ち復興検討会

### プロジェクトの概要

東日本大震災で被災した気仙沼市内湾地区(風待ち地区)で、国登録有形文化財である6棟の建物を再建しています。令和2年度までに再建された5棟は地域で親しまれてきた老舗で、昔ながらのお店の復活は、地

気仙沼風待ち復興検討会……震災前から活動していた「風待ち研究会」有志や、被災した6棟の国登録有形文化財(建造物)所有者、専門家など外部の協力者がメンバーとなっています

域全体の力になるとの声が地元からあがっています。文化財建造物を生業とともに再建することが、地域全体の復興の機運の高まりにつながっています。

#### 地域の特徴

宮城県気仙沼市・気仙沼湾最奥部にある内湾地区は、港町として栄え、船が船

#### 取組みのポイント

	▲知識・技術の習得・発信	2 修理・整備する	被災した文化財建造物を、文化財とし ての価値を踏まえて再建した
		❸修理・整備技術の継承	伝統的な技法を使って再建し、建物の 一部で技法の紹介をする展示を行って いる
	▶地域の賑わいづくり	11イベントを開催する	再建された文化財建造物を会場として、 まち歩き、展示、演劇などのイベントを開 催している
		2 地域コミュニティの拠点にする	再建された文化財建造物の一画を展示スペースにしたり、地域の会議スペース、週末のみのカフェや木工品販売などに貸し出したりしている
	■その他	災害からの復興	昔からの生業とともに文化財建造物を 再建したことが、まち全体の復興にも良 い影響を与えている

出の風を待ったことから、「風待ち」とも呼ばれています。東日本大震災ではま ち全体が被害を受けましたが、復興に向けて様々な取組みが行われています。



地域の文化財建造物を紹介する「風待ちマップ」



小野健商店土蔵(再建後)



三事堂ささ木店舗(再建後)



角星店舗(再建後)



武山米店店舗(再建後)



男山本店店舗(再建後)



千田家住宅

文化財と自然が一体となった魅力を伝える

## 旧国鉄中央線廃線の特別公開

NPO法人 愛岐トンネル群保存再生委員会

### プロジェクトの概要

通常は閉鎖されている「愛岐トンネル群」の敷地内を期間限定で特別公開し、 イベントを開催しています。プロジェクトを主催するNPO法人愛岐トンネ ル群保存再生委員会は、線路跡を「ワイズリユース(賢明な再利用)」する事業を 行っています。

### 地域の特徴

愛知県春日井市の愛岐トンネル群は、「日本3大廃線トンネル群」の一つです。 かつて、愛知県名古屋市と岐阜県多治見市をつないでいた鉄道の一部が昭和 41年に廃線となった後、トンネル群は遺構として残されていました。平成19年 よりトンネル群の調査が開始され、保存再生活動が継続的に行われています。 平成28年には、施設の一部が国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

#### 取組みのポイント

▲知識・技術の習得・発信	<ul><li>■地域の歴史や 文化財建造物を知る</li></ul>	土木遺構としての特徴を調査し、公開している
	■担い手を育てる	地域学習に役立てるために、解説付きの施 設の公開を行っている
■人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	・鉄道や近代化遺産に関する組織との連携により、様々な主体からの支援を得ている・愛知県・鉄道会社・観光協会等との連携によるイベントを企画している
▶地域の賑わいづくり	11イベントを開催する	展示・ウォーキング、コンサートなど様々なイベントを通して、廃線・隧道跡の歴史を伝えるとともに、新しい活用方法を示している



3号トンネルと原寸大のSLの幕



ペダルを漕ぐとSL動輪が回る動体展示



構。周囲の自然と一体となった魅

レンガ広場のコンサートは常に満席?



インバート(トンネルの地下埋設構造物)発掘後、全国でも珍し く常設展示した



秋晴れの廃線跡で現地販売のお弁当をいただく

歴史的建造物の所有者と利活用希望者をマッチング

## 「町家むすび」でアートあふれるまちづくり

有限責任事業組合 富田林町家利活用促進機構(略称:LLPまちかつ)

#### プロジェクトの概要

活用を希望する空き家所有者と入居希望者のマッチングを通して、双方への支援を行っています。寺内町周辺の歴史ある町並みを拠点とし、「アートと工房のまちづくり」をコンセプトとして、「文化・芸術活動を行う工芸作家・アーティスト・クリエーターおよび地区にふさわしい商いを目指す方」の入居を募集しています。

様々なマッチング事例の紹介 ……人や建物によって、活用 方法は様々。「LLPまちかつ」 のWebサイトでは、物件情報 の紹介や、マッチングを利用し た所有者・利用者のインタ ビューを掲載しています

#### 地域の特徴

大阪府富田林市の寺内町は、戦国時代末期に形成され、江戸時代には在郷町 として発展してきました。現在も碁盤目状の町割りや寺、商家が多く現存し ていることから、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

	△知識・技術の習得・発信	■1地域の歴史や文化財建造物を知る	マッチングに際して地域の文化財 建造物に関する情報収集を行っている
	■ 人材発掘・組織づくり	■担い手を育てる	マッチングによって、利活用希望者 を管理活用の担い手としている
		2 ネットワークを作る・広げる	所有者と利活用希望者のマッチン グを行っている
		3 所有者を支援する	マッチングとともに、資産形成や施設の管理に関して、所有者に情報提供を行っている



マッチングにより活用されている町家



マッチングにより活用されている町家



空き町家での活用に向けたイベント



空き町家ツアーの様子



「見守るネット」で所有者と専門家をつなぐ

## Case 8

### 歴史ある建物所有者の抱える悩みに寄り添う「伴走型」支援

## 「見守るネット」で所有者と専門家をつなぐ

認定NPO法人 古材文化の会

### プロジェクトの概要

歴史ある建物の所有者は、メンテナンス・改修等の 建築の技術や、税制、管理・運営、継承など、様々な 課題に直面しています。「見守るネット」は、京都 市を拠点に、建物や所有者の情報をまとめたデー

入念な準備によるシステム構築……データベースの管理・運営には十分な準備が必要です。「残したい建物を見守るシステム」として3年の時間をかけて調査・試行し、議論を重ねた末に運用を開始しました

タベースを管理し、「見守るマネージャー」が、所有者の悩みに寄り添って、専門家である建築士や職人、工務店や税理士等とのコーディネートをしながら、 共に解決していく取組みです。

### 地域の特徴

「見守るネット」は、京都府京都市とその周辺を活動範囲としています。市街 地に並ぶ町家、農地とともにある農家など、様々な木造住宅がみられます。

#### 取組みのポイント

△知識・技術の習得・発信	11 地域の歴史や文化財建造物を知る	歴史ある建物のカルテを作成し、 管理活用にあたって所有者が抱 える課題を明確にしている
□ 1 +4.84元,4□4处ペ/↓	2 ネットワークを作る・広げる	専門家(ヘリテージマネージャー・ 建築士・弁護士・税理士等)と連 携し、所有者の悩みに合わせた相 談先をコーディネートしている
■ 人材発掘・組織づくり	3] 所有者を支援する	歴史ある建物の所有者が抱える、 維持・継承のための様々な課題 に対し、所有者に寄り添いながら、 共に解決している





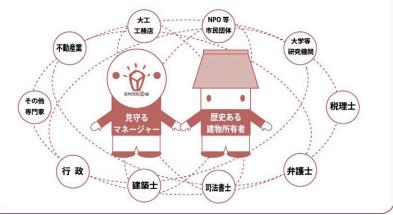




「見守るネット」に登録された空き家の建物(左)が新しい住み手に継承される(右)

## ●見守るネットのイメージ

歴史ある建物の維持、継承のために、建物所有者を専任のマネージャーがサポート する仕組み。所有者の抱える悩みに耳をかたむけ、必要に応じて専門家をコーディ ネートします。 また、 建物の魅力や技術を伝える活動も行います。



見守るネットのイメージ

古材市·大処分市

## Case 9

## 「イラナイモノ」は宝物 古材市・大処分市

認定NP0法人 古材文化の会

## プロジェクトの概要

古材文化の会が、古民家の建替え・改修や引越しの際に譲り受けた建具や家具、日用品などを展示販売する「蚤の市」です。売上の一部を、歴史ある建物の保存・改修に向けた調査費に充てています。

「いらないもの」の再利用と、建物を楽しむイベント……文化財建造物を会場とする場合は、特別公開やワークショップなども同時開催しています

古材文化の会は、文化財建造物だけではなく、歴史ある建物には、今では再現できないかけがえのない技と材があると、先人の想いを大切に次世代につなげたいと活動しています。

B人材発掘・組織づくり	3 所有者を支援する	所有者の保管や処分に関す る負担の軽減となっている
● 資金調達	11文化財建造物の魅力を活かして資金を得る	古材売却による売り上げは、 古材文化の会で、歴史ある建 物の調査等の資金に充てら れる
▶地域の賑わいづくり	11イベントを開催する	建物の公開に合わせて古材 市を行うなど、賑わいを創出し ている



古材市の会場の様子



古材市の会場の様子



古材市の会場の様子



建具なども古材市で売買される



大処分市の会場の様子



空き家となった文化財建造物の活用・再生

## 「空き家バンク」事業

認定NPO法人 尾道空き家再生プロジェクト

### プロジェクトの概要

「尾道市空き家バンク」は、認定NPO法人尾道空き 家再生プロジェクトと尾道市の協動による取組み で、尾道の坂の町や路地にある空き家の利用を考え ている方に、空き家の情報を提供するシステムです。

経験を活かし、行政と補い合う……尾 道空き家再生プロジェクトでは、「空き 家パンク」に携わる前から、自ら空き家 活用を行い、定住相談も受け付けてきま した。経験を活かし、行政だけでは行き 届かない部分を補っています

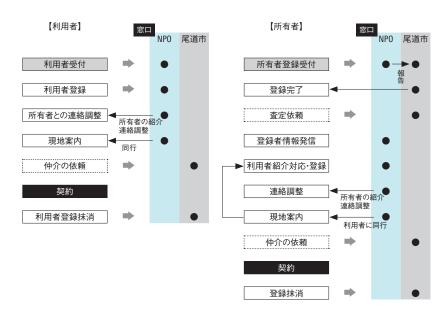
### 地域の特徴

広島県尾道市は北側が山地で、南側は瀬戸内海に面し、海運の集積地として 繁栄してきました。急斜面に路地がめぐり、建物が立ち並ぶ、「坂の町」として もよく知られています。

	▲知識・技術の習得・発信	11地域の歴史や文化財建造物を知る	地域の文化財建造物の 調査を行っている
		11担い手を育てる	定住人口の増加・地域活性化につながる取組みを 行っている
	■ 人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	団体のそれまでの活動で 培った地域のネットワーク を活かし、所有者・居住希 望者双方の相談に乗る体 制を築いている
ı	○ 資金調達	■文化財建造物の魅力を活かして資金を得る	市からの委託を受けており、委託費用により活動資金を得ている



尾道の町並み



「空き家バンク」利用の流れ(尾道空き家再生プロジェクトWebサイトを参考に作成)

ともに、取組みを広く伝えま

## Case 11

036

空き家の活用で定住促進と雇用創出を実現

## 尾道ゲストハウス「あなごのねどこ」

認定NPO法人 尾道空き家再生プロジェクト

## プロジェクトの概要

「あなごのねどこ」は、認定NPO法人尾道空き家再生プロジェクトが空き家 となっていた町家を改修し、ゲストハウスとしての機能に加え、「あくびカ フェー」や交流スペース「あなごサロン」などが一体となった複合施設とした ものです。

## 地域の特徴

前掲(p.034参照)

2 修理・整備する	文化財建造物の価値を重視しながら 空き家を改修し、ゲストハウスとして利 用できるようにした
1 担い手を育てる	空き家を活用して雇用創出も考慮した 定住促進のためのゲストハウスの運営 を行っている
2 ネットワークを作る・広げる	・ワークショップの利用やボランティアによる、低コストでの改修工事ができる体制が構築できている ・ゲストハウスやカフェの運営により収益を得ている
1 イベントに参加する	町並みや地域のイベントにも参加して、周辺一帯での賑わいづくりに貢献 している
2 地域コミュニティの拠点にする	地域住民に向けたサロンの運営により、訪れる人同士が交流できる複合施設となっている
3 観光資源としての価値を活かす	旅行者を受け入れるゲストハウスとして 活用している
1	<ul><li>■担い手を育てる</li><li>■ネットワークを作る・広げる</li><li>■イベントに参加する</li><li>■地域コミュニティの拠点にする</li></ul>



あなごのねどこの外観



ドミトリー



ボランティアによる建物の改修



併設されるカフェ



イベント時の様子

### まち全体での空き家再生と魅力発信

## 分散型「篠山城下町ホテル NIPPONIA」

一般社団法人ノオト

### プロジェクトの概要

「暮らすように泊まる」をコンセプトに、城下町全体を一つのホテルと見立て、空き家となっていた複数の町家等を客室等として改修を行い、町中に分散配置し一体的に運営しています。

これにより、宿泊者に町中の回遊を自然と促し、本事業以前 にも、ギャラリーや飲食店として活用されてきた町家等の 魅力を発信する仕組みとなっています。

### 地域の特徴

兵庫県丹波篠山市の中心部は、篠山城を中心として江戸時代に城下町が形成

#### 取組みのポイント

△知識・技術の習得・発信	2 修理・整備する	文化財建造物の価値を重視しながら 空き家を改修し、宿泊施設等として利 用できるようにした
■ 人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	<ul><li>・ホテル等を、地域の人材や外部の協力者など、様々な人の連携によって運営している</li><li>・新しい居住者を呼び込んでいる</li></ul>
❷資金調達	■ 文化財建造物の魅力を活かして資金を得る(持続可能な事業計画を策定し民間資金を調達する)	文化財建造物の一体的な活用による 事業化を行い、稼ぐ仕組みを創り出す ことで、民間資金調達を可能とした
▶地域の賑わいづくり	<b>3</b> 観光資源としての価値を活かす	まち全体を宿泊施設と捉える構想が、 まちの回遊を促し、城下町全体の観光 資源としての魅力発信につながった

され、当時の町割りが、現在においてもそのまま受け継がれています。城下町の西~南側は、重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。また、城下町周辺部には、日本の原風景とも言える農村集落の景観が広がっています。















「篠山城下町ホテル」の宿泊施設

伝統木造の防災を考える

## 防火・耐震改修モデル町家での活動

NPO法人 関西木造住文化研究会(略称: KARTH)

## プロジェクトの概要

江戸時代後期に建てられた町家を、木造伝統構法で防火・耐震改修しました。 改修時には、有効性を実験で検証し、改修後も居住実験として経年変化を観 察しています。

この町家は、防火・耐震改修モデル町家「西陣ヒコバエノ家」として、関西木造 住文化研究会の活動拠点となっています。

## 地域の特徴

拠点とする「西陣ヒコバエノ家」がある京都府京都市は、京町家が多く残る地域です。

△知識・技術の習得・発信	3 修理・整備技術の継承と普及啓発	伝統木造構法を使った防火・耐震 改修技術の継承・発展に取組んで いる
■ 人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	改修した町家を活動拠点として、実 務者、専門家、学術機関等、様々な 主体と連携しながら調査・研究を行っている
■その他	災害に備える	伝統木造構法を使った防火・耐震 改修技術の継承・発展に取組んで いる



防火・耐震改修モデル町家「西陣ヒコバエノ家」



研究対象の土壁の展示



研究対象の土壁の展示



十壁防火宝縣

ヘリテージマネージャーと

## Case 14

歴史的建造物に関わる建築士のすそ野を広げる

## ヘリテージマネージャー養成講座等の開催

NPO法人ひょうごヘリテージ機構H20神戸

### プロジェクトの概要

地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して地域づくりに生かす「ヘリテージマネージャー」の育成に必須となる、ヘリテージマネージャー養成講座等を開催しています。最近では、コーディネーターとなる人材の育成も同時に行っています。

「総合力」で問題解決 ……ヘリテージマネージャー個々の知識や能力を高めるとともに、ネットワークを強化し、オームの総合的な力をもって取り組めるようにしています

### 地域の特徴

兵庫県神戸市には、開港により港湾都市として発展してきた洋館などの近代 建築物が多く現存しています。また、六甲山の北部・西部には、茅葺き屋根の 民家が点在する農村風景も残されています。高度経済成長期の発展や阪神淡 路大震災を経て、歴史的建造物の消滅が進む中、管理活用への取り組みが課 題となっています。

△知識・技術の習得・発信	❸修理・整備技術の継承・普及啓発	ヘリテージマネージャー養成講座等を通じて、文化財建造物に関する専門知識を持つ人材の育成を行っている
	■担い手を育てる	同上
□人材発掘・組織づくり	2 ネットワークを作る・広げる	・ハリテージマネージャー個人の能力 を高めるだけでなく、チームワークに よる課題解決に取組んでいる ・県内だけでなく、建築士会や全国 のヘリテージマネージャーと連携し、 情報交換などを行っている



ヘリテージマネージャー講習会



ヘリテージマネージャー講習会



ヘリテージマネージャー講習会



茅葺職人指導による小屋裏点検調査



寺院改修の見学講習会

歴史的建造物に携わる実務者を対象とした セミナーの開催

## Case 15

歴史的建造物の管理・活用に関する制度を学ぶ

歴史的建造物に携わる実務者を対象とした セミナーの開催

NPO法人ひょうごヘリテージ機構H20神戸

### プロジェクトの概要

ヘリテージマネージャーや、その他文化財建造物の保存活用に携わる人を対象に、様々な講習を行っています。文化財建造物をめぐる法体系や、計画策定について学ぶセミナーでは、最新の制度運用についてもテーマに取り上げています。

#### 取組みのポイント

▲知識・技術の普及・啓発	■地域の歴史や文化財建造物を知る	自治体職員等との連携により、制度・施策を学ぶセミナーを行っている
人材発掘・組織づくり	■ 担い手を育てる	・講演会やセミナーの定期開催により、建築実務者を育成している・担い手となる人の移住・定住を促進するためのガイドブックを作成している
<b>E</b> その他	災害に備える	文化財建造物の防災対策や技術、知識の普及啓発を行っている



歴史的建築物セミナー:歴史的建築物 の再生活用の道をひらく「3条その他条 例」の可能性を学ぶ(平成28年3月開 催)

歴史的な建築物の再生や活用の際には、建築基準法が障壁となる事例が多 なります。そこで、自治体によっては、建 築基準法3条に規定されている「その他 の条例」を制定し、文化財建造物の活 用の可能性を広げる取り組みを行って います

セミナーの講師は、自治体職員を迎え、 法制度への理解促進を建築関係者ら に向けて行いました。

これまでのセミナー等を通して得られた実績は、ガイドブックとしてまとめられ、実用性に優れた内容となっています



セミナー:農村地域の文化財 を活かしていく「法」との付き 合い方(平成28年12月開催)

セミナーでは、自治体の職員やヘリテージャーを講師として迎えています。講演やワークショップを通じ、古民家の壁となる、現行法(都市計)度、建築基準法、農築基準法、農業を進力の活用を円分化財建造物の活制をの充り方や理解の周知を行ってきました。



市街化調整区域における 法制度ガイドブックの作成 (平成30年3月)

若年者の農村への移住 や起業ニーズの増加傾向 を受け、自治体でも支整 えてきました。 遊休農地や空き家となっ た古民家の活用を後押し するために、煩雑な手続 きや法制度解説したガイ ドブックです

### 活動の参考となる資料

文化財建造物の管理活用に取り組まれるNPO等の皆様の、活動の参考になる冊子やWebサイトをいくつかご紹介します(発行当時の制度・技術等が記載されているため、情報が古い場合があります)。

#### 文化財建造物の管理活用全般について

・ 公益社団法人日本建築士会連合会編集・発行「地域の歴史的建造物の保全・活用に係る専門家育成のための研修テキスト」(平成22)

#### 文化財建造物の改修等に関する知識・技術について

- ・ NPO法人関西木造住文化研究会による木造住宅の耐震・防火・防災等に関するリーフレット・資料
- 関西木造住文化研究会Webサイト「資料閲覧」のページ(http://karth.org/documentationview)より、入手方法をご確認ください。
- ・ 公益社団法人日本建築士会Webサイト「歴史的建造物の保存・活用に関する相談窓口」 https://www.kenchikushikai.or.jp/about-our-society/rekishi\_sodanmadoguchi.html

### 資金調達について

- ・ 文化庁地域文化創成本部編集・発行「文化財保護のための資金調達ハンドブック」(令和 2)
- 文化庁Webサイトの「出版物・パンフレット等」のページからダウンロードできます。 https://www.bunka.go.jp/tokei\_hakusho\_shuppan/shuppanbutsu/index.html

#### 文化財に関する法制度等について

文化庁Webサイト「文化財」のページ
 https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/index.html

#### その他、文化財の活用に関する資料等

- ・文化庁地域文化創成本部編集・発行「文化財の多言語化ハンドブック」
- ・ 文化庁地域文化創成本部編集・発行「文化財を活用したユニークベニューハンドブック」
- ・文化庁地域文化創成本部編集・発行「先端技術による文化財活用ハンドブック」 いずれも、文化庁Webサイトの「出版物・パンフレット等」のページからダウンロードできます。 https://www.bunka.go.jp/tokei\_hakusho\_shuppan/shuppanbutsu/index.html

#### 活動団体の運営全般について

- 認定特定非営利法人日本NP0センター編集・発行「知っておきたいNP0のこと」シリーズ 「知っておきたいNP0のこと1基本編」(平成16)
- 「知っておきたいNPOのこと2「資金】編(平成30)
- 「知っておきたいNPOのこと3協働編」(平成20)
- 「知っておきたいNPOのこと4参加編」(平成28)
- 「知っておきたいNPOのこと5[事業評価]編」(平成29) 日本NPOセンターWebサイトより入手方法をご確認ください。
- 認定特定非営利法人日本NPOセンター Webサイト https://www.jnpoc.ne.jp/
- ・ NPOWEB Webサイト http://www.npoweb.jp/
- ・認定NPO法人日本都市計画家協会編集・発行「地域主体のまちづくり参考書」 日本都市計画家協会Webサイト「地域主体のまちづくり参考書」のご案内ページよりご覧く ださい。

https://www.jsurp.jp/

## 地域の宝を未来へつなぐ

NPO等による文化財建造物管理活用の手引き

事例集

令和3年1月発行

編集・発行

文化庁 文化資源活用課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 旧文部省庁舎6階 Tel 03-5253-4111 Fax 03-6734-3820 e-mail aseibi@mext.go.jp

事業フォローアップ調査

株式会社フジヤマ(令和元年度委託)

執筆

株式会社マヌ都市建築研究所(令和2年度委託)